

## 沼津市人口ビジョン

### 中長期展望(2060年)

#### 《目指すべき将来の方向》

- ◎沼津で働きたい、住み続けたい魅力を生み出し、東京圏や周辺市町への転出超過に歯止めをかける
- ◎若い世代の雇用の場の確保と子育てへの不安を取り除き、子育てしやすい環境をつくる
- ◎まちなか居住の推進と都市的魅力の向上を図り、定住人口の確保と交流人口の拡大を目指す

#### 《将来のまちの姿》

都市的魅力と自分らしい生活を  
楽しめる“ぬまづ暮らし”の実現

### 人口の将来展望

#### 《人口の長期見通し》

**2060年 101,000人**

(国立社会保障人口問題研究所推計)

#### 目標

- ① 社会移動：均衡 (2020年)
- ② 希望出生率：1.8 (2025年)
- ③ 合計特殊出生率：2.07 (2035年)

※希望出生率：結婚や出産に関する国民の希望が実現した場合の出生率

**2060年 143,000人程度の人口確保**

## 第2期沼津市総合戦略体系 (2021~2025)

### 基本目標(2025年)

#### 1. 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する

- 事業所数 10,000 事業所
- 従業者数 11万人

#### 2. 沼津への新しいひとの流れをつくる

- 転入超過維持
- 観光交流客数 600万人

#### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 出生数 1,200人
- 子育て世帯数 18,000世帯

#### 4. 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる

- 沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合 85%

### 施策の方向と具体的な取組

#### 施策の方向と具体的な取組

#### 主な重要業績評価指標 (KPI) (2025)

1-1 地場製品の競争力強化と地域経済の活性化	販路開拓等に取り組んだ商品の売上高対前年度比率 120%
①産業間連携による地域資源の活用(物産振興の推進) ②地産地消の総合的な推進 ③沼津の農産物振興 ④水産業振興の推進	
1-2 新たな仕事づくりと雇用の創出	新規に創出した従業者数 160人
①公民連携リノベーションまちづくりの推進 ②起業創業支援 ③まちなか商業リブランディングの推進	
1-3 地域産業を担う人材の確保・育成	従業者数 11万人
①沼津しごとの応援(若年者の就労支援) ②農業改革の推進 ③男女共同参画の推進 ④人材の育成(起業創業支援)【再掲】	
1-4 立地環境を活かした企業誘致	年間企業立地数 延べ50件
①企業立地の促進 ②農業団地事業構想(農業改革の推進)【再掲】	
2-1 まちなか居住の推進と都市的魅力の向上	中心市街地歩行者数 80,000人
①沼津駅周辺総合整備 ②総合体育館等の整備 ③市街地再開発等の推進 ④中心市街地まちづくり戦略 ⑤公共交通ネットワークの形成 ⑥公民連携リノベーションまちづくりの推進【再掲】 ⑦まちなか商業リブランディングの推進【再掲】 ⑧文化財の保存活用	
2-2 “ぬまづ暮らし”の発信による住み替えの促進、関係人口の創出・拡大	社会移動数 転入超過維持
①ぬまづ暮らしへの住み替えの促進 ②沼津の魅力発信の推進 ③観光プロモーション ④ふるさと納税の推進 ⑤中央公園等リノベーション ⑥空き家対策の推進	
2-3 観光資源を最大限活用した交流人口の拡大	観光交流客数 600万人
①観光プロモーション【再掲】 ②深海魚を活用した地域産業の活性化(水産業振興の推進)【再掲】 ③沼津港みなとまちづくりの推進 ④イベントの展開とにぎわいの創出 ⑤広域観光・MICEの推進 ⑥沼津御用邸記念公園の保存活用 ⑦沼津サイクルツーリズムの推進 ⑧フェンシングのまち沼津の推進 ⑨アスルクラロ沼津のホームタウン活動の推進	
2-4 外国人の誘客とおもてなしの充実	外国人宿泊者数 10万人
①インバウンドの推進 ②広域観光・MICEの推進【再掲】	
3-1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現	男女共同参画推進事業所認定数 115事業所
①男女共同参画の推進【再掲】 ②健康づくりの推進 ③いきいきスポーツの推進	
3-2 若い世代の経済的安定	沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数 延べ100人
①沼津しごとの応援【再掲】 ②不妊・不育症治療費の助成	
3-3 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	婚姻数 1,000件
①出会い応援・結婚新生活支援 ②不妊・不育症治療費の助成【再掲】 ③妊娠・出産の包括支援	
3-4 子ども・子育て支援の充実	待機児童数 0人
①多様な保育サービス ②地域子育ての支援 ③みんなで子育て支援	
3-5 沼津らしい子ども教育の更なる推進	特色ある教育活動が行われていると感じている保護者の割合 90%
①学校教育・家庭教育の「地域総がかり」による推進 ②言語教育による読解力・表現力の育成 ③ICT活用教育の推進 ④高校生しゃべり場 in ぬまづの開催	
4-1 災害に強い安全・安心な生活環境づくり	災害に備えている市民の割合 60%、津波避難困難地区の解消 0箇所
①安全な地域づくりの推進 ②自主防災会の活性化 ③地震防災の啓発 ④総合的治水対策の整備 ⑤観光拠点における来訪者の安全確保	
4-2 便利で快適な居住環境の整備	公共交通利用者数 45,900人
①公共交通ネットワークの形成【再掲】 ②沼津駅周辺総合整備【再掲】 ③総合体育館等の整備【再掲】 ④中間処理施設の整備 ⑤空き家対策の推進【再掲】 ⑥沼津市営住宅今沢団地の建替え	
4-3 共に支え合う地域コミュニティの充実	地区センターにおけるコミュニティ利用件数 4,000件
①地域コミュニティの活性化 ②防犯のまちづくり ③フレイル対策の推進 ④高齢者地域包括ケアシステムの整備 ⑤地域福祉の推進 ⑥民間支援まちづくりファンド ⑦多文化共生の推進	
4-4 新しい時代の流れを活用する	スマートシティ関連プロジェクト数 延べ12件
①自然環境の保全 ②3Rの推進 ③スマートシティの推進 ④行政ICT利活用 ⑤キャッシュレス決済導入の推進	